

シラバス(2019.4.16.) 2019 年度前期:人文学部(司書課程科目) 2 単位

## 「図書館サービス概論／図書館サービス論」

時 間： 火曜 7/8 時限 (14:40～16:10)  
対 象： 2～4 年次  
教 室： PBL 演習室 3/4 (環境・情報科学館 3 階)



担当教員： 長澤 多代 (NAGASAWA Tayo)  
三重大学 地域人材教育開発機構 大学図書館・学習支援部門  
附属図書館 研究開発室

連絡先： nagasawa.tayo@mie-u.ac.jp TEL 059-231-9892 (内線 9892)  
研究室： 附属図書館 3 階 (環境・情報科学館側の通用口より)  
オフィス・アワー： 火曜 (学期中) 12:00～13:30 (予約の必要はありません)  
これ以外の時間帯でも対応できますが、不在の場合もありますので、  
電子メールや電話で、なるべく事前に確認してください。

個人のページ： [http://www.lib.mie-u.ac.jp/r\\_and\\_d/info/nagasawa.html](http://www.lib.mie-u.ac.jp/r_and_d/info/nagasawa.html)

担当教員： 吉丸 雄哉 (YOSHIMARU Katsuya)  
三重大学人文学部 文化学科

連絡先： yoshimaru@human.mie-u.ac.jp, TEL 059-\*\*\*-\*\*\*\*(内線\*\*\*\*)  
研究室： 教養教育校舎二号館五階

教科書： 宮部頼子編. 図書館サービス概論. 樹村房, 2012, 214p. (現代図書館  
情報学シリーズ, 4) [附属図書館の請求記号 010.8/G34/4]  
[必ず購入してください。生協の書店で、購入できます。]

Moodle のコース：「図書館サービス概論／図書館サービス論」(人文学部)  
登録キー： \*\*\*\*\*

備考： 詳しい授業計画については、第 1 回の授業時に説明します。

### ◆授業の概要

知識基盤社会、生涯学習社会といわれる現代において、図書館には、人々が情報を主体的に活用しながら、それぞれの日常生活をより豊かで充実したものにするための支援や援助を提供することが求められている。人々が多様な情報資源の中から必要な情報を効率的に選択して利用できるようにするために、図書館はさまざまな図書館サービスを提供している。この授業科目では、基本的な図書館サービスについて学習することにより、図書館員として、多様な利用者の情報行動や特性を把握し、これをもとに効果的な図書館サービスを設計し運用するための基礎的な知識と考え方を習得する。

## ◆学習の目的

図書館サービスの考え方と構造の理解を図り、資料提供、情報提供、連携・協力、課題解決支援、障害者・高齢者・多文化サービス、著作権、接遇・コミュニケーション等の基本についての理解を深める。

## ◆学生の到達目標

- ・図書館が提供する図書館サービスの意義と目的を説明することができる。
- ・図書館サービスに関する基本的な用語を説明することができる。
- ・基本的な図書館サービスについて、意義、経緯と現状、具体例について説明することができる。

## ◆授業の方法

講義，演習（個人，チーム），教室外の学習によって進めます。

## ◆授業計画

|           | 授業日   | 内容   |
|-----------|-------|--|
| 第1回<br>長澤 | 4月16日 | 図書館サービスの意義と目的<br>◇説明：授業科目の概要説明（各回の学習内容、成績評価の方法など）<br>◇講義：図書館サービスの意義と目的，図書館サービスの要素と機能<br>キーワード：図書館サービス，テクニカルサービス，パブリックサービス  |
|           |       | 教室外の学習<br>◇個人課題A：関連用語のチェックリスト（Beforeの部分）に記録する。（提出期限：4月23日（火）14:40）<br>◇読書課題：教科書，p.1-22.<br>◇学習の振り返り<br>長澤の授業を始めて受講する学生は，顔写真つきの自己紹介を作成して提出してください（第2回の授業時に回収します）。<br>自己紹介のフォーマットについては，Moodleからもダウンロードできます。 |
| 第2回<br>長澤 | 4月23日 | 閲覧サービスI<br>◇講義：開架／閉架方式，館内利用，フロア構成，書架の配置，光・音環境<br>キーワード：閲覧，自動書庫，セルフフリーディング  |
|           |       | 教室外の学習<br>◇個人課題B：第2回から第4回までの学習内容のうち，ひとつのテーマを選択する。選択したテーマに関する用語を定義し，関連する論文を3本読んで内容を分析する。（提出期限：5月21日（火）14:40）<br>◇読書課題：教科書，p.58-65，福本徹「環境計画」『図書館施設特論』学文社，2012，p.56-61。（ベーシック司書講座・図書館の基礎と展望，9）<br>◇学習の振り返り  |

|           |       |  |
|-----------|-------|--|
| 第3回<br>長澤 | 5月7日  | <p>閲覧サービスⅡ</p> <p>◇講義：ブラウジング，フロアワーク，図書館家具の選択，配架の原理</p> <p>キーワード：ブラウジング，フロアワーク，キャレル</p> <p>教室外の学習</p> <p>◇読書課題：教科書，p.126-128./福本徹「図書館建築の構成要素1～3」『図書館施設特論』学文社，2012，p.30-48。（ベーシック司書講座・図書館の基礎と展望，9）</p> <p>◇学習の振り返り</p>   |
| 第4回<br>長澤 | 5月14日 | <p>閲覧サービスⅢ</p> <p>◇講義：利用者のマナーとモラル，利用者とのコミュニケーション，サインシステム</p> <p>キーワード：ブックディテクションシステム（BDS），サイン，コーチング</p> <p>教室外の課題</p> <p>◇読書課題：教科書，p.118-124；千錫烈「図書館における問題利用者：コミュニケーション・スキルを用いた「怒り」への対処法」『情報の科学と技術』60(10)，2010，p.420-427。（<a href="http://ci.nii.ac.jp/naid/110007730620">http://ci.nii.ac.jp/naid/110007730620</a>（2015-03-18採取））</p> <p>◇学習の振り返り</p> |
| 第5回<br>長澤 | 5月21日 | <p>貸出サービスⅠ</p> <p>◇演習：個人課題Bの発表</p> <p>◇講義：貸出，団体貸出，返却と督促，プライバシーへの配慮</p> <p>キーワード：団体貸出，自動貸出機，個人情報保護法</p> <p>教室外の学習</p> <p>◇個人課題C：第5回から第10回までの学習内容のうち，ひとつのテーマを選択する。選択したテーマに関する用語を定義し，関連する論文を3本読んで内容を分析する。（提出期限：7月2日（火）14:40）</p> <p>◇読書課題：教科書，p.65-72，116-117.</p> <p>◇学習の振り返り</p>  |
| 第6回<br>長澤 | 5月28日 | <p>貸出サービスⅡ</p> <p>◇講義：ブックモバイル，予約リクエスト，図書館相互貸借<br/>複写サービス，著作権</p> <p>キーワード：ブックモバイル，図書館相互貸借，公衆送信権</p> <p>教室外の学習</p> <p>◇読書課題：教科書，p.72-79，134-151./高山正也ほか編．「貸出し」『図書館サービス論』改訂版，樹村房，2005，p.31-37.</p> <p>◇学習の振り返り</p>   |

|            |       |   |
|------------|-------|---|
| 第7回<br>長澤  | 6月4日  | <p>広報活動，集会・行事活動</p> <p>◇講義：広報活動，教育・文化活動</p> <p>キーワード：広報，集会活動，ビブリオバトル</p> <p>教室外の学習</p> <p>◇読書課題：金沢みどり「広報活動とコミュニケーション」，「集会活動」『図書館サービス概論』学文社，2014，p.112-125，137-145. [010.8/R12/5]</p> <p>◇学習の振り返り</p> <p>◇個人課題D：展示のための準備作業（第8回，第9回の授業の準備）</p>  |
| 第8回<br>吉丸  | 6月11日 | <p>企画展示Ⅰ</p> <p>◇講義・演習：図書の企画展示</p> <p>教室外の学習</p> <p>◇学習の振り返り</p> <p>詳細については，後日に説明します。</p>   |
| 第9回<br>吉丸  | 6月18日 | <p>企画展示Ⅱ</p> <p>◇演習：図書の企画展示</p> <p>教室外の学習</p> <p>◇学習の振り返り</p> <p>詳細については，後日に説明します。</p>  |
| 第10回<br>長澤 | 6月25日 | <p>図書館サービスの協力と連携</p> <p>◇講義：図書館間の協力，類縁機関との協力，学校図書館との連携</p> <p>キーワード：広域利用，図書館コンソーシアム，MLA連携</p> <p>教室外の学習</p> <p>◇読書課題：教科書，p.129-133，152-174.</p> <p>◇学習の振り返り</p>   |
| 第11回<br>長澤 | 7月2日  | <p>利用対象に応じたサービスⅠ</p> <p>◇演習：個人課題Cの発表</p> <p>◇講義：利用対象の認識，児童サービス</p> <p>キーワード：ストーリーテリング，読み聞かせ，ブックトーク</p> <p>教室外の学習</p> <p>◇個人課題E：第11回から第14回までに学習した利用対象に応じたサービスのうち，ひとつを選択する。選択したサービスについて説明し，図書館におけるそのサービスの実態を3つの図書館で調査する。Web調査を含めることは可能であるが，少なくとも1館は実際に図書館を訪問すること。（提出期限：7月30日（火）14:40）</p> <p>◇読書課題：教科書，p.96-100；植松貞夫ほか「児童サービスの種類と内容」『児童サービス論』樹村房，2012，p.29-47.（現代図書館情報学シリーズ，6）[010.8/G34/6]</p> <p>◇学習の振り返り</p> |

|            |       |   |
|------------|-------|---|
| 第12回<br>長澤 | 7月9日  | 利用対象に応じたサービスⅡ   |
|            |       | ◇講義：乳幼児サービス，ヤングアダルト・サービス<br>キーワード：ブックスタート，認識絵本，ヤングアダルト  |
|            |       | 教室外の学習<br>◇読書課題：教科書，p.100；伊藤明美「乳幼児サービスの意義と現状」，井上靖代「ヤングアダルトサービスの意義と現状」『児童サービス論』日本図書館協会，2014，p.174-207.（JLA 図書館情報学テキストシリーズ，Ⅲ）〔010.1/To72〕<br>◇学習の振り返り   |
| 第13回<br>長澤 | 7月16日 | 海外の図書館サービス  |
|            |       | ◇ゲスト・スピーカー：Hermina Anghelescu（School of Library and Information Science, Wayne State University, USA）「Library Services: In American Libraries」  |
|            |       | 教室外の学習<br>◇学習の振り返り  |
| 第14回<br>長澤 | 7月23日 | 利用対象に応じたサービスⅢ   |
|            |       | ◇講義：障がい者サービス，高齢者サービス，多文化サービス<br>キーワード：ディスレクシア，LLブック，DAISY   |
|            |       | 教室外の学習<br>◇読書課題：教科書，p.103-115.<br>金沢みどり「利用対象者別の図書館サービス」『図書館サービス概論』第2版，学文社，2016，p. 146-169.〔010.8/R12/5〕<br>◇学習の振り返り   |
| 第15回<br>長澤 | 7月30日 | 課題解決型の支援／今後の図書館サービス   |
|            |       | ◇演習：個人課題Eの発表<br>◇講義：行政支援サービス，ビジネス支援サービス，健康・医療情報サービス，子育て支援サービス，農業支援サービス<br>◇講義：今後の図書館サービス  |
|            |       | 教室外の学習<br>◇個人課題A：関連用語のチェックリスト（Afterの部分）に記録する。<br>◇読書課題：教科書，p.175-186.；金沢みどり「これからの図書館サービスの活性化に向けて」『図書館サービス概論』第2版，学文社，2016，p. 209-224.〔010.8/R12/5〕<br>◇学習の振り返り<br>【個人課題A，その他課題の提出期限：2019年8月6日（火）14:40】<br>人文学部の課題用ポスト，長澤の研究室のドアにあるボックス，<br>電子メール，Moodleのいずれか |

## ◆ 課題の提出期限と提出方法

学習の振り返り

提出期限：次回の授業時

個人課題B～E

提出期限（上記のとおり）

提出方法：印刷したものを提出期限の授業時に持参する。

## ◆ 成績評価の方法

合格の条件は、合計が 60 点以上になることです(100 点満点)。

個人課題 A 4 点

個人課題 B, C 各 10 点

個人課題 D, E 各 8 点

学習の振り返り = 各 4 点 × 15 = 計 60 点

ペアワークを含みます。ペアワークがないものについては、下記のルールで減点します。

いずれの課題についても、提出期限後に提出した場合には、減点になります。

減点のルールは次のとおりです。

個人課題 (4 点 → 2 点, 8 点 → 6 点)

学習の振り返り (4 点 → 2 点)

課題の完成度によって、減点になることもあります。

## ◆ 大学生に求められる学習時間 (「大学設置基準」第 21 条 単位)

本授業科目を修得するためには、教室外の学習として、60 時間の準備学習及び復習が必要になります。根拠は次のとおりです。

- ◇ 本授業科目の単位を取得するのに必要な学習時間の総量:90 時間  
= 単位制度によって定められた 1 単位の習得に必要な学習時間(45 時間)  
× 2 単位(本授業科目の単位数)
- ◇ 教室内における学習時間:30 時間  
= 2 時間(1 回の授業あたりの学習時間:90 分)×15 回
- ◇ 教室外に必要な学習時間:60 時間  
= 90 時間(教室内外の学習時間) - 30 時間(教室内の学習時間)

<<シラバスは学習の手引です。毎回の授業に必ずもってきてください。>>

## 図書館情報学に関する基本的な参考図書など

次の参考図書などを活用して、個人課題や各回の学習の振り返りを仕上げてください(◎は必須)。

- ◎ 『図書館情報学研究文献要覧』日外アソシエーツ, (1970～1981 版, 1982～1990 版, 1991～1998 版, 1999～2006 版) [参考 010.31/To02]
- ◎ 『図書館情報学用語辞典』第 4 版, 丸善, 2013, 284p. [参考 010.33/To02]
- 『図書館情報学ハンドブック』第 2 版, 丸善, 1999, 1144p. [参考 010.3/To02]  
オンラインでも利用できます。
- 『図書館年鑑』日本図書館協会(毎年刊行) [参考 010.59/To72]
- 根本彰ほか編. 『図書館情報学の地平:50 のキーワード』日本図書館協会, 2005, 353p. [010.1/To72]
- 今まど子編著. 『図書館学基礎資料』第 10 版, 樹村房, 2011, 132p. [010.3/Ko71]

## 図書館情報学に関する基本的な雑誌

- 『図書館雑誌』日本図書館協会, 月刊
- 『現代の図書館』日本図書館協会, 季刊
- 『大学図書館研究』国公立大学図書館協力委員会／大学図書館研究編集委員会, 季刊
- 『図書館界』日本図書館研究会, 隔月刊
- 『情報の科学と技術』情報科学技術協会, 月刊
- 『情報管理』日本科学技術情報センター, 月刊
- 『Library and Information Science』三田図書館・情報学会, 季刊
- 『日本図書館情報学会誌』日本図書館情報学会, 季刊